

福島県の農林水産物の検査体制と 検査結果の現状



福島県 農林水産部
環境保全農業課長
佐藤 清丸

農産物の安全性への取組み

- 農林水産物の安全性を確認するために、原子力災害特別措置法に基づき原子力災害対策本部が「農林水産物に係る緊急事環境放射線モニタリング(以下モニタリング調査と略する)」を行っている。
- 厚生労働省は事故直後に放射性セシウムの暫定規制値を設定。平成24年4月1日から新基準値を設定。モニタリング調査で基準値を超えた場合は、市町村ごとに出荷制限等の措置がとられる。

◎放射性セシウムの暫定規制値

食品群	規制値 (ベクレル/kg)
野菜 穀類 肉・卵・魚・他	500
牛乳・乳製品	200
飲料水	200

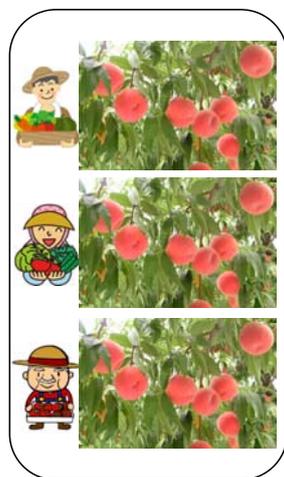


◎放射性セシウムの新基準値

食品群	基準値 (ベクレル/kg)
一般食品	100
乳児用食品	50
牛乳	50
飲料水	10

モニタリング調査

- 出荷が始まる直前から出荷期に、生産量や出荷額等に留意し、市町村、団体等と協議して、品目や採取場所等を決定
- 抽出したサンプルを粉砕して容器に詰め、分析機器で測定。



農産物を生産



分析用のサンプルを抽出



サンプルの粉砕



容器への詰め作業

分析体制

- 農業総合センターに分析課を設置(16人)
- 2交代制ゲルマニウム半導体検出器を10台設置して分析を実施



調査点数

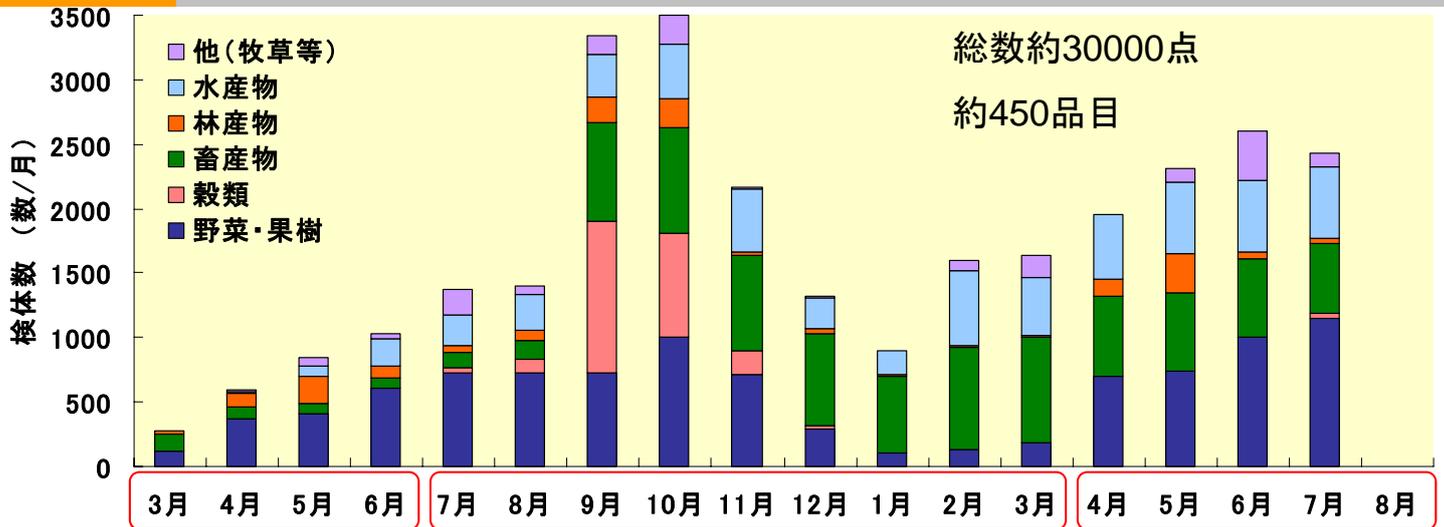


図 月別の分析点数

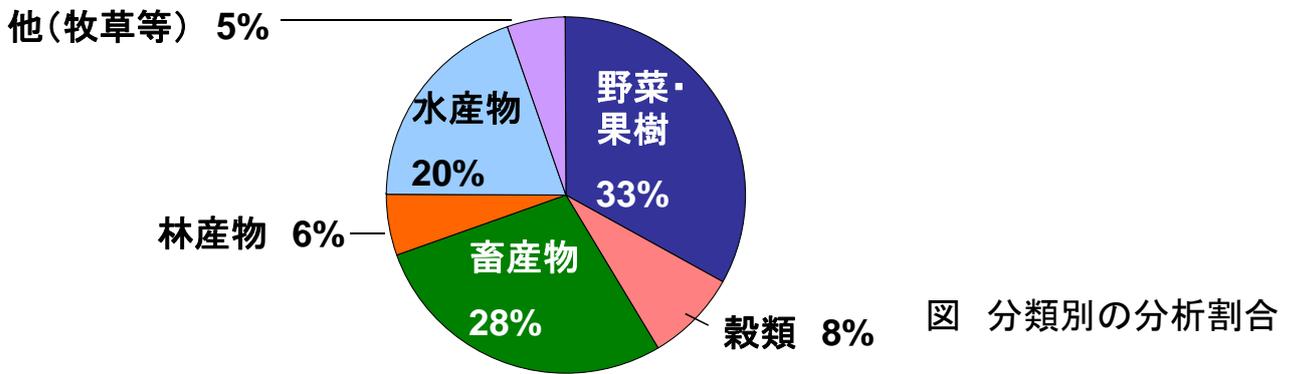
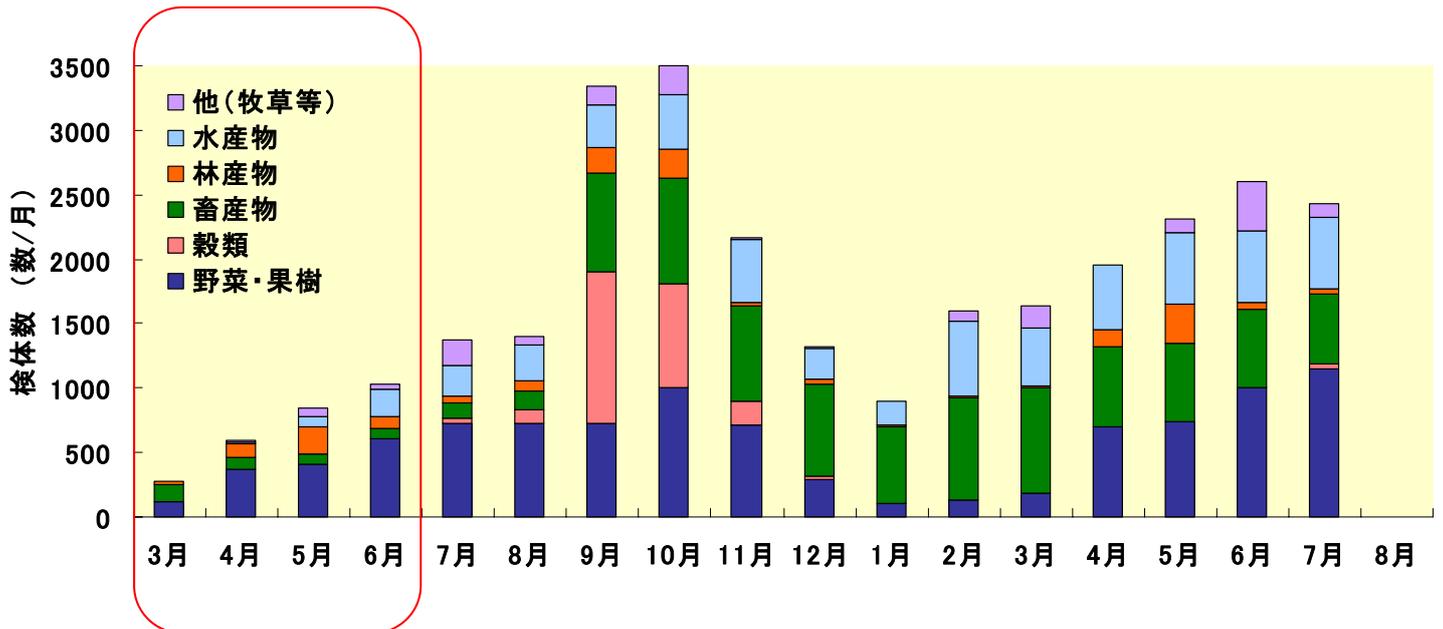


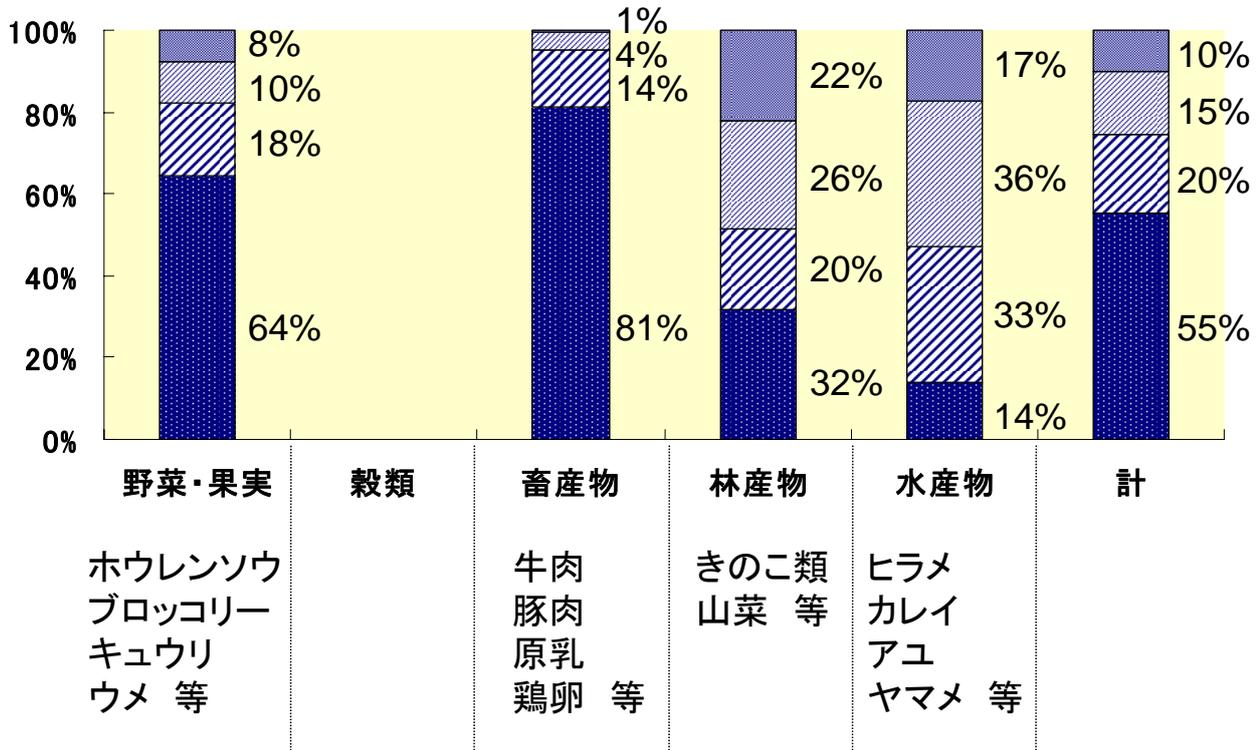
図 分類別の分析割合

2011年3月～2011年6月



2011年3月～6月

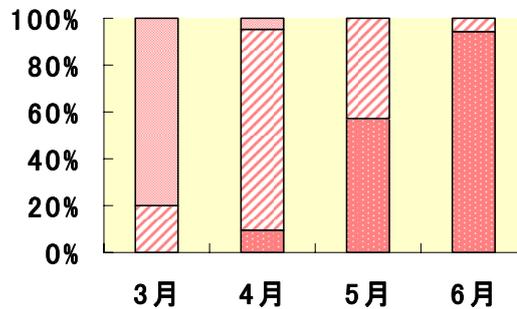
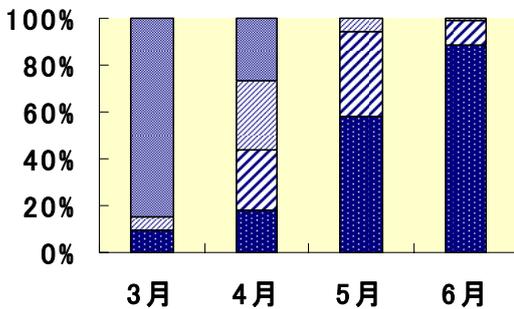
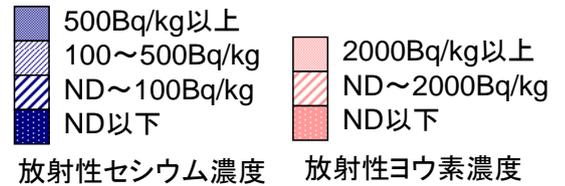
○調査全体(計2641)でNDは55%、ND～100Bq/kgは20%、100～500Bq/kgは15%、500Bq/kg以上は10%



2011年3月～6月 ホウレンソウ、キュウリ

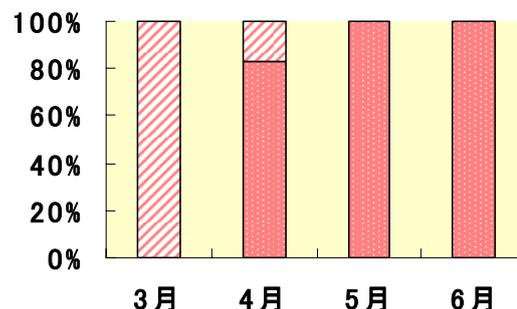
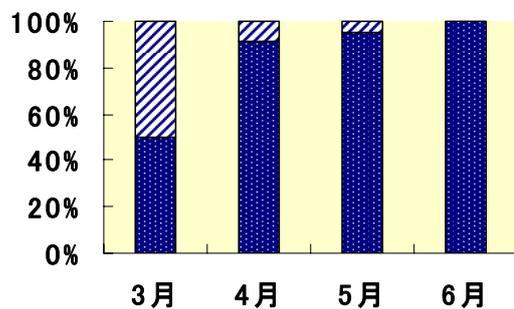
○放射性セシウム、放射性ヨウ素が検出

○放射性物質の直接降下(フォールアウト)により、葉菜類(ホウレンソウ等)の濃度が高い。



ホウレンソウ

最大値
Cs: 34,000Bq/kg
I: 8,400Bq/kg

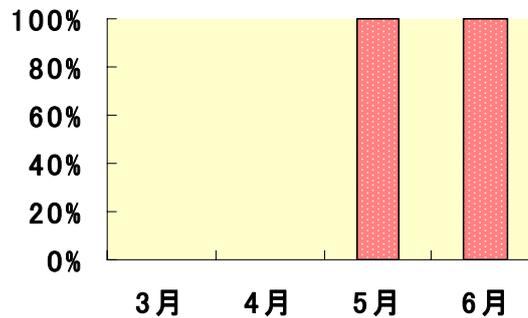
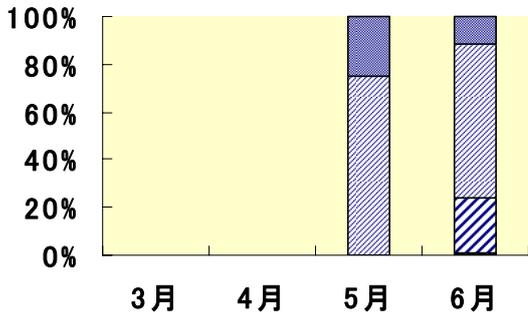
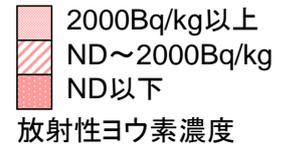
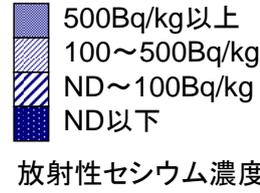


キュウリ

最大値
Cs: 8Bq/kg
I: 21Bq/kg

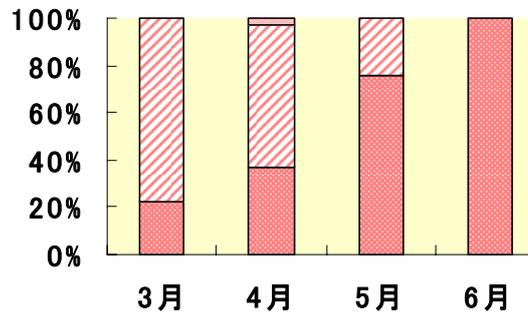
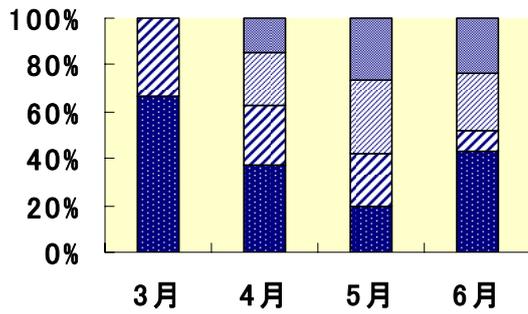
2011年3月～6月 ウメ、キノコ類

○ウメ、キノコ類は放射性物質の濃度が高い



ウメ

最大値
Cs: 760Bq/kg
I: 0Bq/kg



キノコ類

最大値
Cs: 13,000Bq/kg
I: 12,000Bq/kg

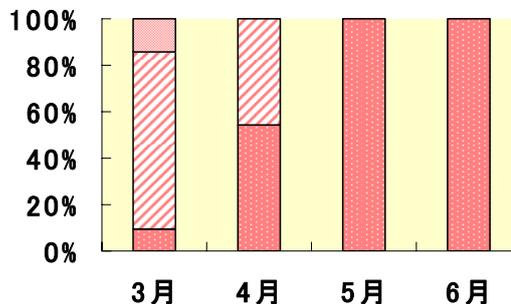
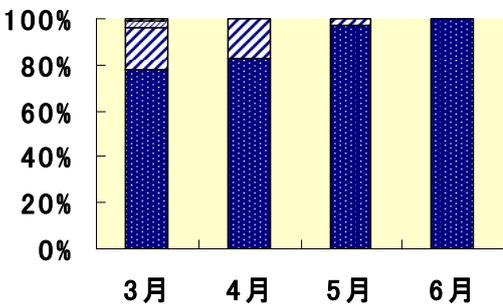
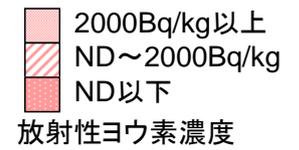
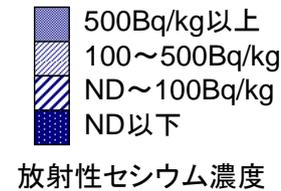
放射性セシウム

放射性ヨウ素

2011年3月～6月 海水魚、淡水魚

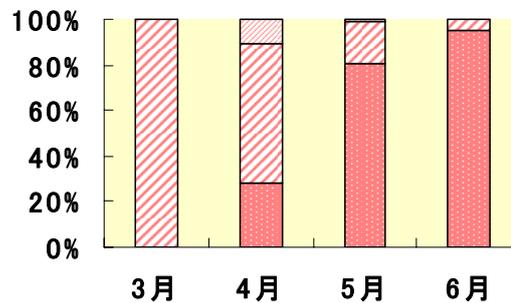
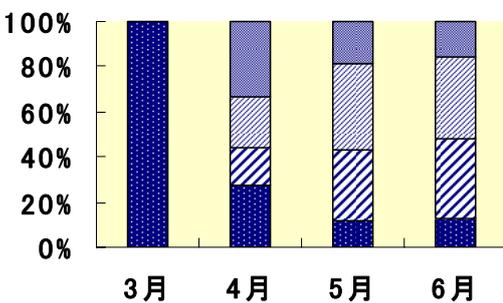
○原乳は3～4月まで放射性物質の濃度が高い

○魚介類は放射性物質の濃度が高い



原乳

最大値
Cs: 420Bq/kg
I: 5,300Bq/kg



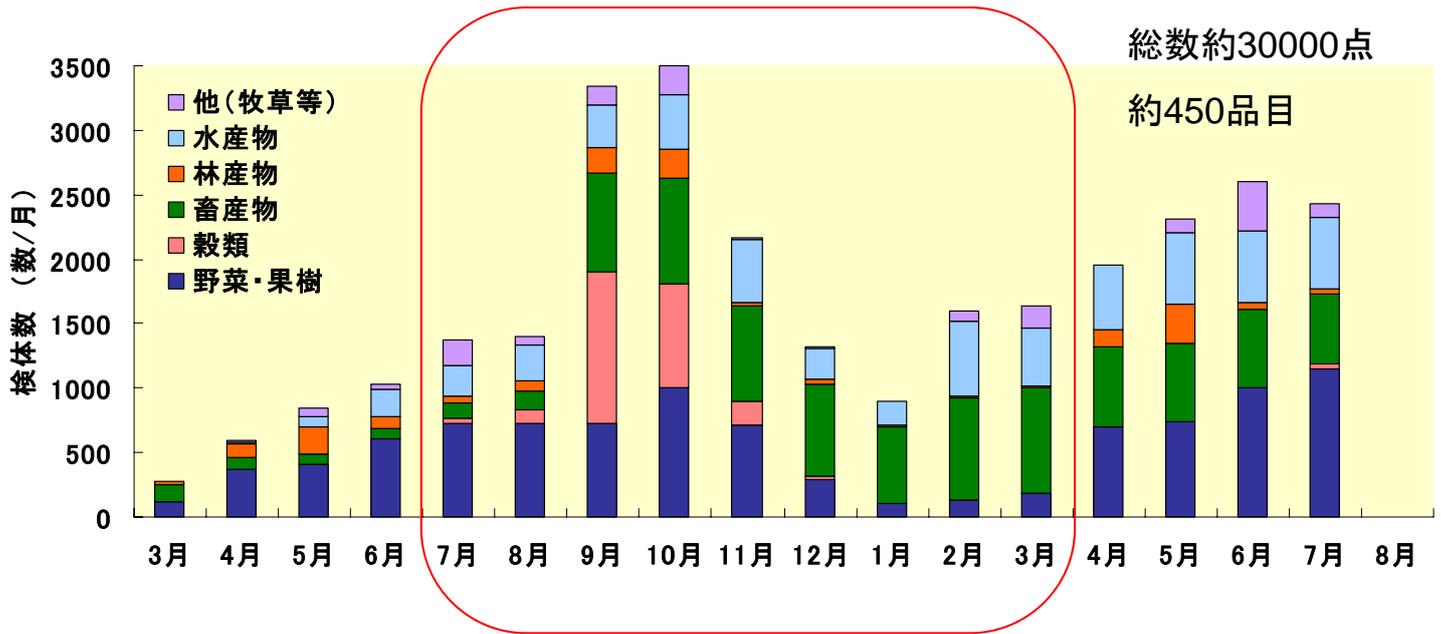
魚介類

(ヒラメ、カレイ等)
最大値
Cs: 12,000Bq/kg
I: 14,400Bq/kg

放射性セシウム

放射性ヨウ素

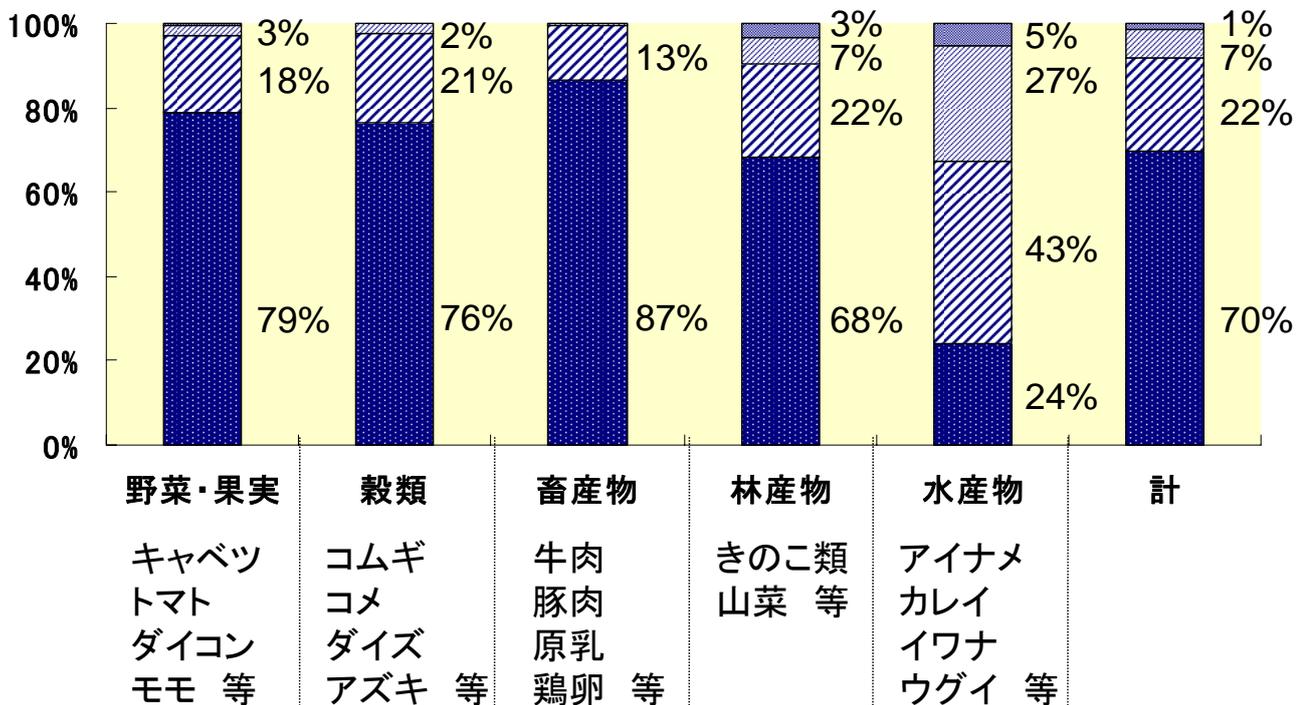
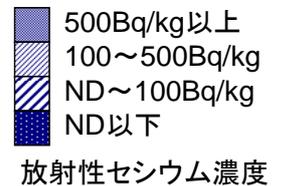
2011年7月～2012年3月



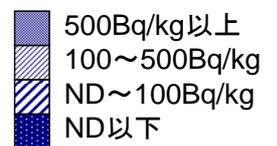
2011年7月～2012年3月までの結果を平均して、品目別に表示

2011年7月～2012年3月

○調査全体(計2641)でNDは70%、ND～100Bq/kgは22%、100～500Bq/kgは7%、500Bq/kg以上は1%

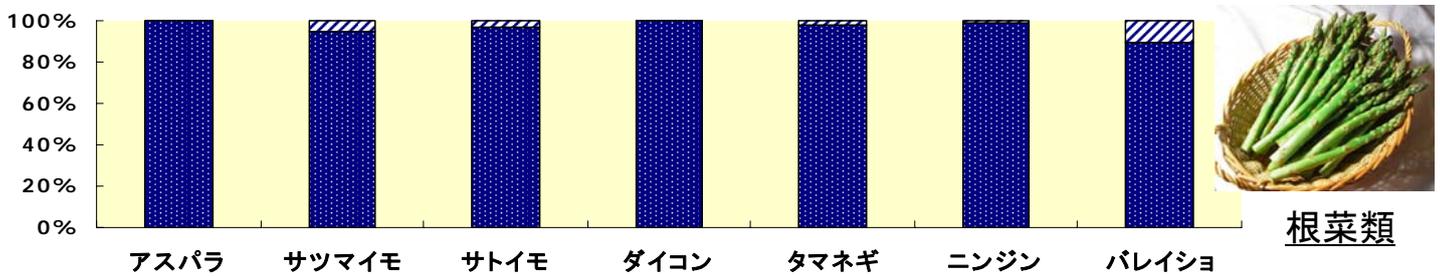
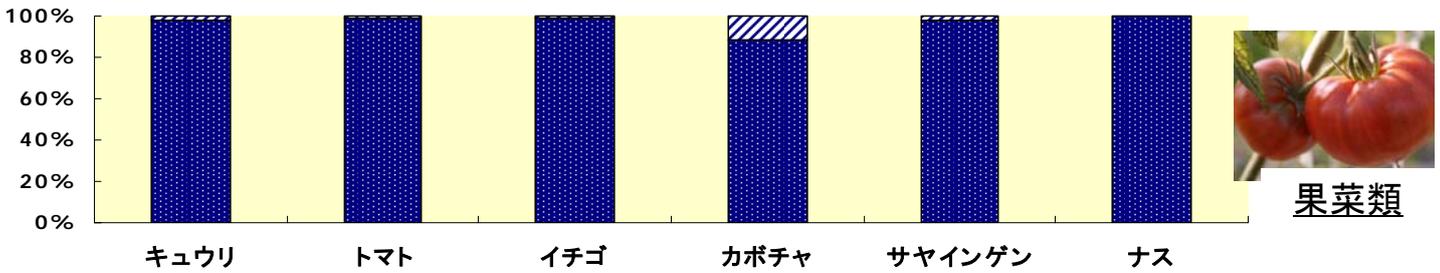
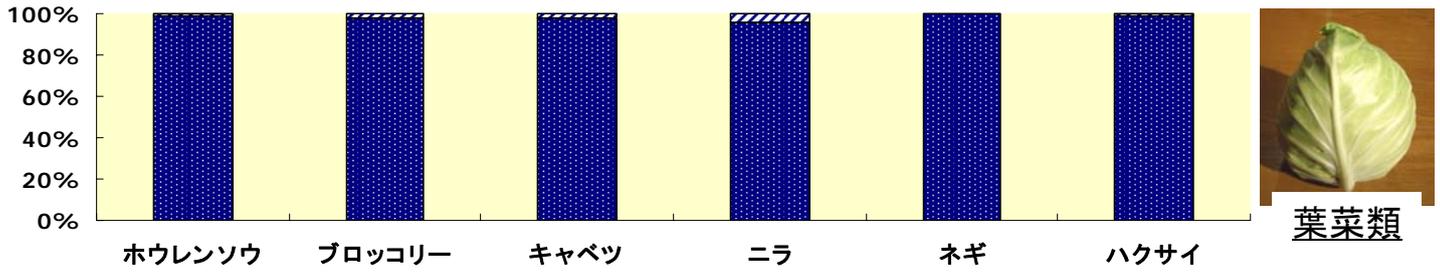


2011年7月～2012年3月 野菜

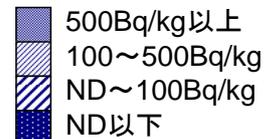


○ 全て100Bq/kg以下

放射性セシウム濃度



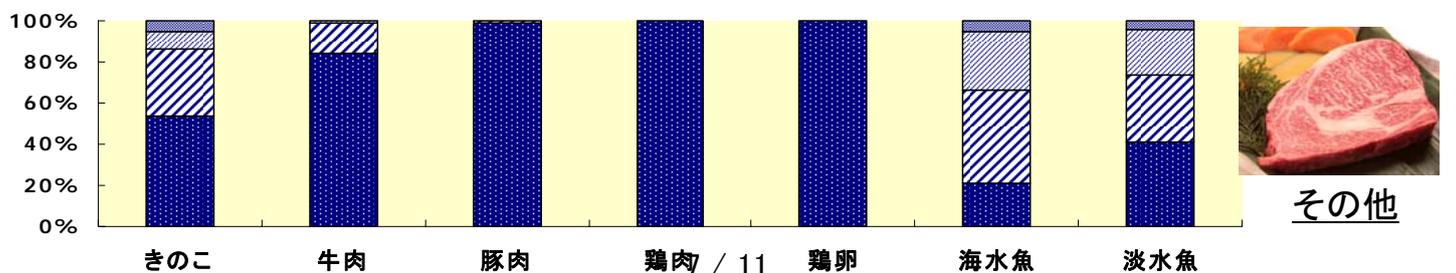
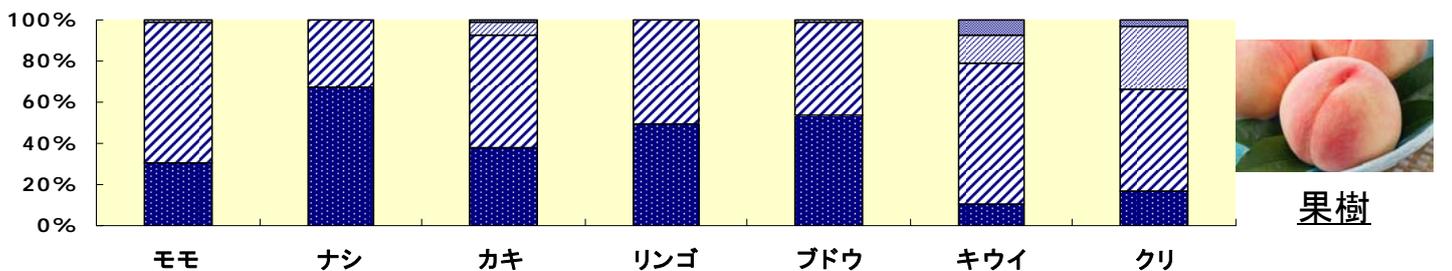
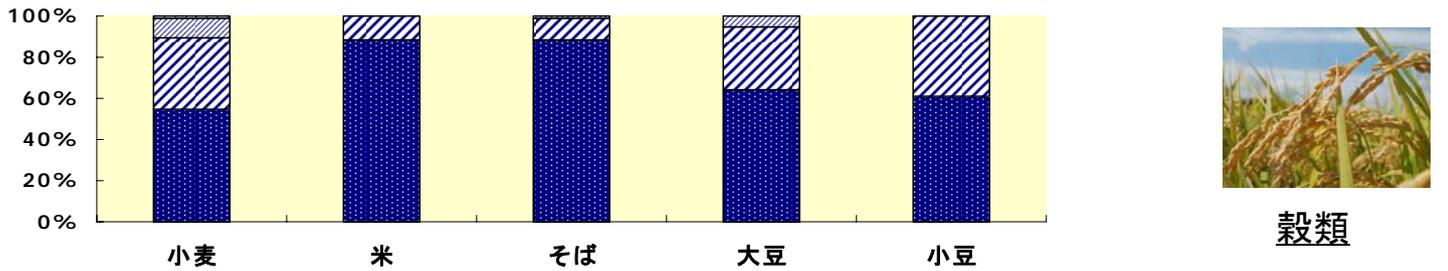
2011年7月～2012年3月 穀類、果樹、肉類等



○ 大半は100Bq/kg以下

○ キウイフルーツ、クリ、きのこ、魚介類では500Bq/kg超もある

放射性セシウム濃度



2012年4月～2012年8月

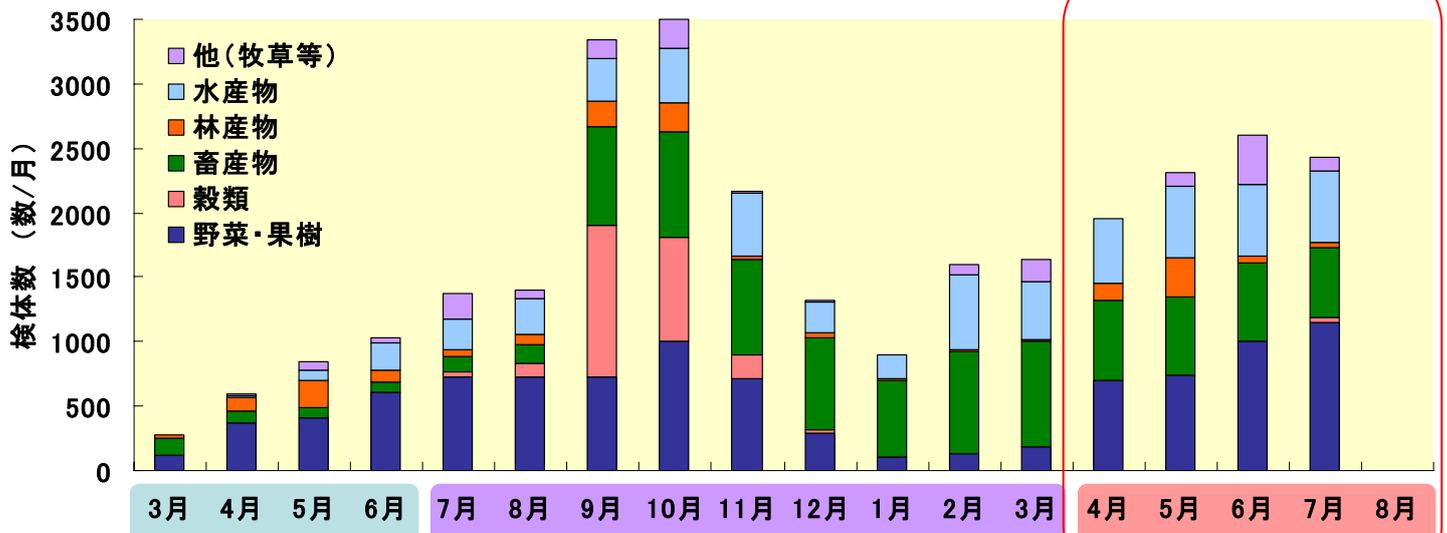
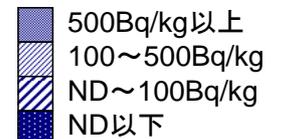


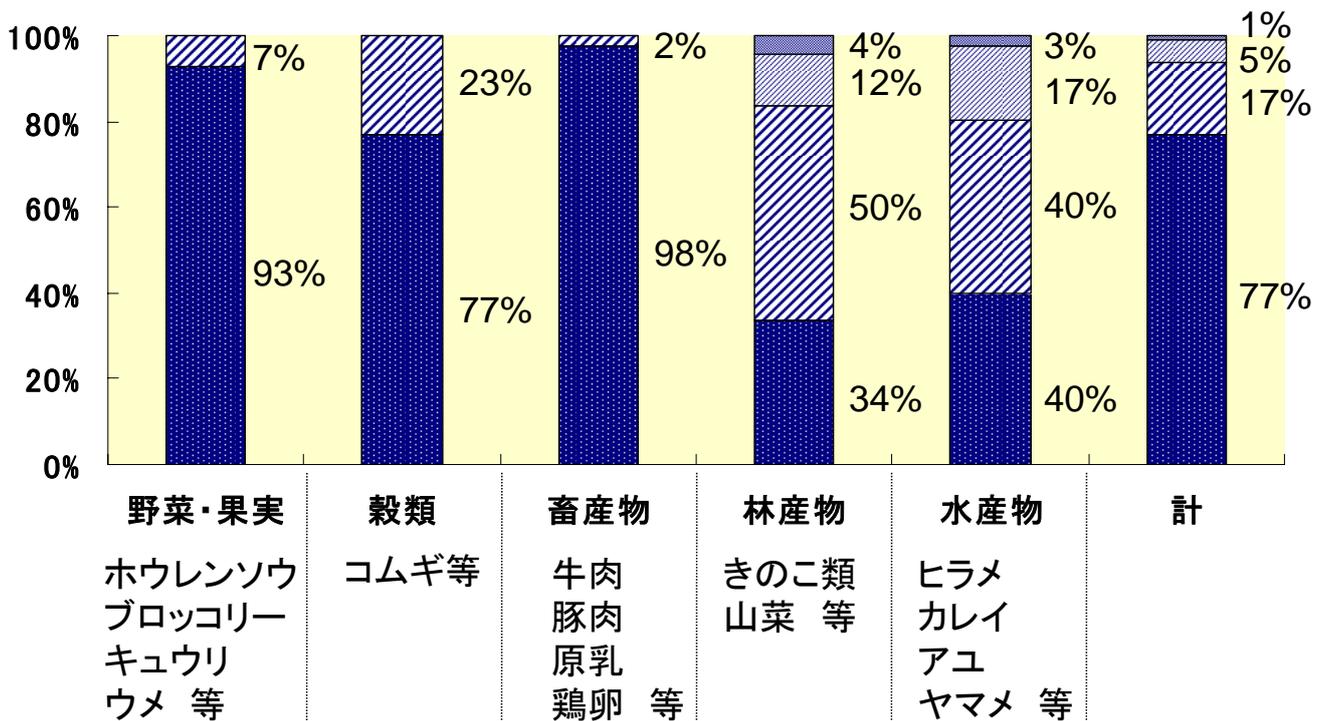
図 月別の分析点数

2012年4月～8月

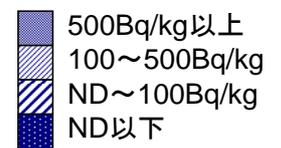


○調査全体(計2641)でND以下は77%、ND～100Bq/kgは17%、100～500Bq/kgは5%、500Bq/kg以上は1%

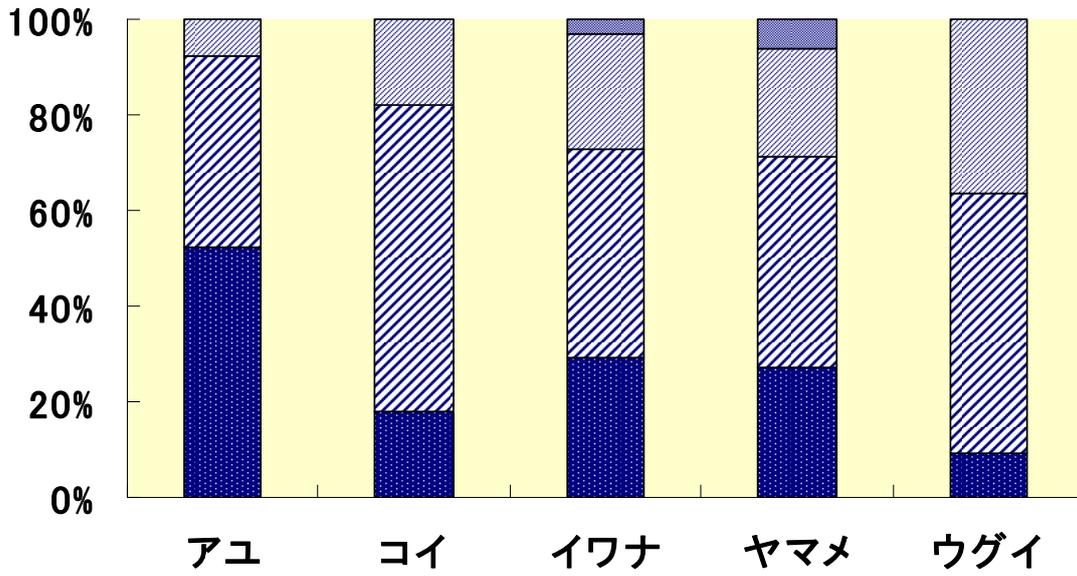
放射性セシウム濃度



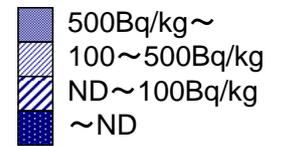
2012年4月～7月 淡水魚



放射性セシウム濃度

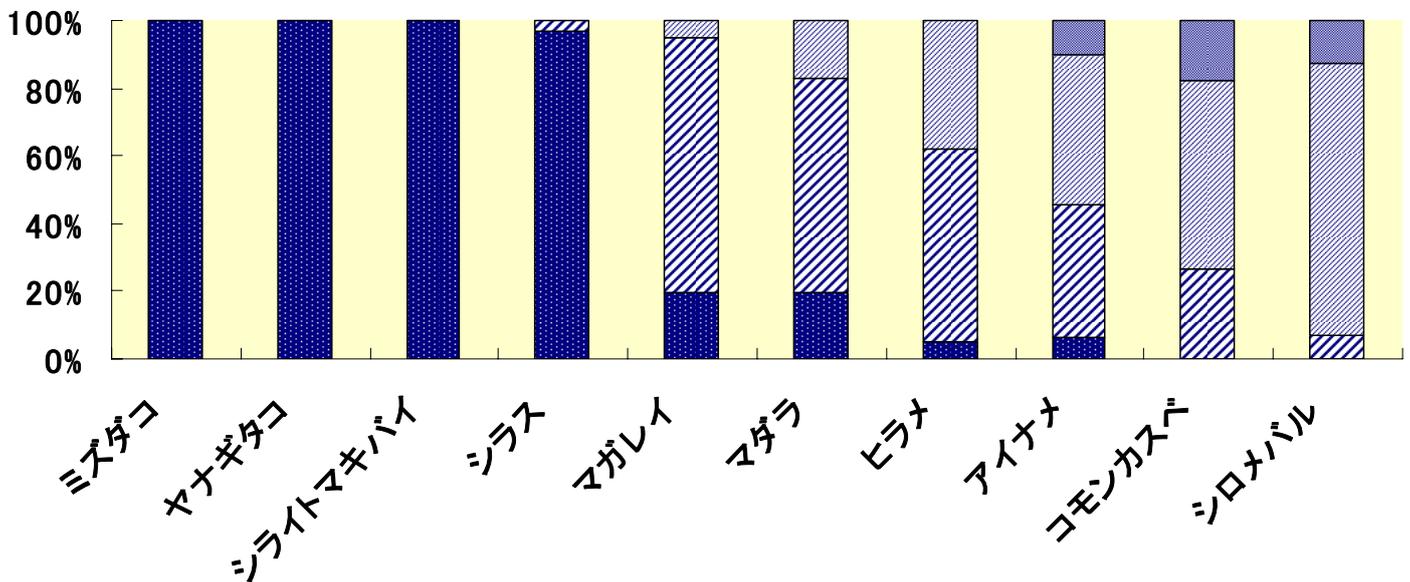


2012年4月～7月 海水魚



放射性セシウム濃度

○品種によって放射性セシウム濃度が異なる



県産食品の安全・安心を確保する取組みについて

生産段階(産地・生産者)

流通段階(流通事業者)

消費段階(消費者)

農林水産物の緊急時
環境放射線モニタリング

- 出荷する前に検査
- Ge半導体検出器



産地での検査

- 検査の強化
- 出荷する前に検査
- NaI、ベルコン式導入

農産物情報の表示

- 米には検査済シール

流通する食品の検査

- 市場流通前の加工食品等を検査

加工食品の検査

- 加工食品検査体制の強化

情報の見える化

- HP上で結果を公表

学校給食の検査

日常食の検査

家庭菜園等の検査

福島県内に導入されたベルトコンベア式放射性セシウム濃度検査器は5機種

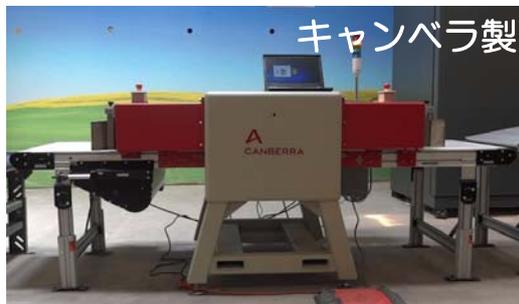
島津製作所製



三菱重工製



キャンベラ製



富士電機製



日立造船製



米の全袋検査場のイメージ

検査済ラベル印刷・貼付



福島県では、全量全袋検査を実施し、食品衛生法の基準値(100ベクレル/kg)以下であることを確認しています

識別番号 1201-112-1234-00001

検査結果 30ベクレル/kg(参考値)

測定下限値 25ベクレル/kg

検査年月日 平成24年11月11日



精米袋への貼付

モニタリング調査結果は、福島県および厚生労働省のホームページ等で公表している。

福島県：

<http://www.new-fukushima.jp/monitoring.php>

厚生労働省：

<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r9852000001m9tl.html>